

第36期第8回常任理事会議事録

日 時：2011年3月23日（水）13時30分～16時20分

会 場：日本気象学会事務室（気象庁8階）

出席者：新野，藤谷，石田，佐藤，田中，三上，藤部，余田，以上8名（常任理事現在数13名）

欠席者：岩崎，近藤，中島，中村，中本，以上5名

その他の出席者：鈴木，萩原，田沢（事務局）

議 事

1. 第36期第7回常任理事会議事録の確認

2. 第36期第3回理事会議事録の確認

3. 会員の加入・退会

新入会員7，退会6を全会一致で承認。2011年3月22日現在，会員数3,826名で通常会員は1,080名。

4. 第5回理事会の議題について

標記の件について検討した。

5. 国際地学オリンピック日本大会2012組織委員会委員選出について

標記の件について検討し，理事長が委員に就任することを全会一致で承認した。

6. 各委員会からの報告

庶務…転載許可

- 1) 山岸米二郎氏から，和田光明，中村則之，2000：成熟期の積乱雲。天気，47，3-4の写真1(a)～(d)，藤部文昭，1996：移動する台風の風速分布を表わす計算式について。天気，43，671-680の第2図と第3図の一部，山岬正紀，1999：台風の理論。第33回新しい気象学，22-23の図1，5，9，Fujibe, F. and T. Asai, 1984: A Detailed Analysis of the Land and Sea Breeze in the Sagami Bay in Summer. J. Meteor. Soc. Japan, 62, 534-551のFig. 4，甲斐憲次，浦健一，河村武，小野恵淑，1995：東京環状八号道路付近の上空に発生する雲（環八雲）の事例解析－1989年8月21日の例。天気，

42, 417-428の第4図(c), Saito, K., 1994: A Numerical Study of the Local Downslope Wind “Yamaji-kaze” in Japan. Part 3: Numerical Simulation of the 27 September 1991 Windstorm with a Non-hydrostatic Multi-nested Model. J. Meteor. Soc. Japan, 72, 301-329のFig. 10，大原利真，鶴野伊津志，1997：房総前線出現時の局地気流とNO2高濃度汚染の数値シミュレーション。天気，44，856-874の第1図，加藤輝之，2000：1993年8月1日に南九州で発生したライン状豪雨の数値シミュレーション。天気，47，235-244の第1，2，3，5図を「気象学入門－天気図からわかる気象の仕組み－」（オーム社，2011年春季刊行予定）に転載。

- 2) 法政大学文学部地理学教室内気候学談話会佐藤典人代表から，Takahashi, H. G. and T. Yasunari, 2008: Decreasing Trend in Rainfall over Indochina during the Late Summer Monsoon: Impact of Tropical Cyclones. J. Meteor. Soc. Japan, 86, 429-438. の論文を”Japanese Progress in Climatology”（2010年度末発行予定）に転載。

・後援名義等使用依頼受付

名称：The 1st Joint AMS-Asia Satellite Meteorology, Oceanography, and Climatology Conference

1) 主催：American Meteorological Society

2) 期日：2012年1月22日(日)～26日(木)

3) 場所：米国ルイジアナ州ニューオーリンズ

4) 名義：共催

名称：第5回「地域防災防犯展」大阪

1) 主催：社団法人大阪国際見本市委員会

2) 期日：2011年6月9日(木)～10日(金)

3) 場所：インテックス大阪(大阪市住之江区)

4) 名義：後援

・損害賠償請求事件について3月8日付の訴状を受領した。

・日本学術協力財団から依頼されたデータベース「学会名鑑」に関する調査に回答。

会計…2011年2月分の収支及び現預金検査報告。

・2011年度予算案について説明。

天気…Vol. 58 No. 3 (2011年3月号)の掲載記事と、Vol. 58 No. 4 (2011年4月号)予定記事の報告。

気象集誌…Vol. 89 No. 1, 2, MAHASRI特別号の掲載予定論文の報告。

・MAHASRIの特別号の表紙に印刷ミスがあり、修正したうえで発送することが報告された。

SOLA…投稿論文の処理の進捗について報告。

講演企画…2011年度春季大会の準備状況について報告。新しい大会登録投稿システムの運用を行い、プログラム編成会議により複数の講演が辞退もしくは不採用となったことが報告された。賛助企業について予稿集に記載することが報告された。

総合計画…公益法人移行に関して、社員制度をどうするか、役員制度をどうするか、会計制度をどうするかといった課題について検討した。社員制度に関して代議員制はなじまないのではないか、との意見が多かった。

教育と普及…地震により委員会開催を延期したことおよび公開気象講演会と夏季大学の準備状況について報告。サイエンスカフェについて気象予報士会と連携して取り組んでおり、ポータルサイトを気象予報士会のホームページに設置したことが報告された。

電子情報…現在の学会のホームページのコンテンツサービスを行っている国立情報学研究所がサービス提供を終了することに伴うホームページの移行についての検討状況について報告。

7. その他

1) 2011年度日本気象学会賞および藤原賞の投票結果について報告。日本気象学会賞は岡本創九州大学応用力学研究所教授が、藤原賞は田中浩名古屋大学名誉教授がそれぞれ受賞者となった。

2) 2011年度総会の議事次第について検討した。

3) 東北地方太平洋沖地震に関連して、4月13日に予定されていた評議員会が開催可能かどうか検討した。

4) 福島第一原子力発電所の事故に関わる大気科学関連の課題と今後の学会の対応について議論した。

平成23年4月13日

社団法人日本気象学会

議長 新野 宏

署名人 藤谷徳之助

署名人 藤部 文昭